

【評価の基準】

(A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：改善の余地がある、D：相当の改善を要す、E：わからない)

評価項目	評価の観点	評価 (%)				
		A	B	C	D	E
今年度の重点目標	・本年度の重点目標は、生徒の実態と保護者や地域の願いを踏まえた妥当なものだったでしょうか	43	43	0	0	14
組織の連携	・全職員共通意識の下に各課題に取り組むことができたでしょうか	43	43	0	0	14
情報の共有・発信	・地域の方や中学生に総合学科高校としての本校の教育活動や魅力を伝えることができたでしょうか	43	57	0	0	0
学力の向上	・学力向上に向けた指導は充実していたでしょうか	43	28	0	0	28
進路実現のための指導体制の充実	・生徒一人ひとりの進路実現のための個々に応じた指導を十分に行うことができたでしょうか	43	43	0	0	14
キャリア教育推進科目選択に対する支援の充実	・インターンシップや「産業社会と人間」等を通して、キャリア教育を十分に行うことができたでしょうか	28	43	0	0	28
生徒支援の充実	・挨拶や身だしなみ、時間厳守等の指導により、生徒は基本的な生活態度を身につけたでしょうか	43	57	0	0	0
	・人権を尊重する態度、社会規範意識を向上させることができたでしょうか	43	43	0	0	14
生徒会活動の支援	・生徒が主体的に活動できるように支援できたでしょうか	43	43	0	0	14
クラブ活動の充実	・クラブ活動を通して心身の育成や充実した学校生活を送れるように支援することができたでしょうか	43	43	0	0	14
図書館・視聴覚係の運営の充実	・生徒が主体的に進路を選択するための資料を収集することができたでしょうか	57	28	0	0	14
健康で住みよい学校づくり	・学校全体の健康管理を進めることができたでしょうか	43	43	0	0	14
資源のリサイクル化の推進	・資源物のリサイクルを進めることができたでしょうか	43	43	0	0	14
同窓会の充実	・生徒の学習・クラブ活動の支援を図り、同窓会事業が充実したものとなったでしょうか	28	57	0	0	14
教職員と保護者および地域の連携を深めるPTA活動の推進	・教職員と保護者とが連携して積極的なPTA活動を進め、地域に貢献することができたでしょうか	28	43	14	0	14

【今年度の重点目標】

- 生徒の現状に合わせて作成されている。
- コロナ禍での大変困難な状況で、「安全安心な環境」等適切な目標が設定されている。
- 「地域と連携」も重要。

【組織の連携】

- 職員が情報を共有し、同じ認識・同じ指導をする必要があるが、横の繋がりを取りながら取り組んでいる。

【情報の共有・発信】

- 「中野立志館高校だより」等はとても良い情報ツールだと思います。内容面のより拡充を期待します。
- コロナ禍の中、思うように活動ができなかったと思いますが、ホームページの充実や学校パンフレットなど積極的に情報発信に努めていただいた。
- 進路講話・体験等で、立志館高校へ入学したいという希望者が多い。

【学力の向上】

- 多様な科目がある学校で、大勢の先生方にきめ細やかな指導をいただきました。
- コロナ禍で休校期間が長かったため、対応が難しかったと思います。
- 「主体的、探究的な学び」という文言が出てくるが、コロナ禍においてどのように実践したのか知りたい。

【進路実現のための指導体制の充実】

- 昨年末時点で9割程度の就職・進学が決定しており、学校の努力に敬意を表します。
- いろいろな家庭環境の生徒がいる中で、保護者懇談会を通じて保護者に説明いただき、生徒の想いだけでなく保護者の想いも十分聞いていただき、それぞれの進路について対応いただきました。

【キャリア教育推進科目選択に対する支援の充実】

- コロナ禍で十分な時間が確保できなかったのが残念ですが、代替案を考えたり工夫を凝らして行っていただきました。
- コロナ禍でインターンシップも中止、「産業社会と人間」も自宅での自主学習とのことでした。オンライン教育の可能性もありそうですね。

【生徒支援の充実】

- 映画「あん」の視聴は良いと思います。
- 身だしなみ指導を定期的に行ったり、アンケートや充実した講話を開催など、生徒が一瞬でも考える場があることによって、基本的な生活態度を身につけられました。
- アンケートや講演会を実施していただいたので、意識して生活するきっかけを作っていただけました。継続してほしいです。
- 来校した時の生徒のあいさつはとてもさわやかで好感が持てました。

【生徒会活動の支援】

- 行事が縮小化される中、生徒が新しい事への挑戦できる良い機会となり、成功していたと思います。生徒達が行いたい内容を、先生方が協力したり見守ったりし、自主性を尊重してくださっていたので、大きく育ちました。
- 地域との連携を重視する御校にとって、ボランティア中止により困難な状況だったと拝察します。

【クラブ活動の充実】

- スキー部等の特徴あるクラブだけでなく、幅広いクラブ活動の活発化を期待します。
- 休校が続き練習が出来なかったり、目標にしていた大会が中止になる等つらいことが多かったですが、その中でも先生方にはできるだけのことを見つけ支援していただいております。

【図書館・視聴覚係の運営の充実】

○探究的な学びに必要な資料、進路関連の資料の充実を図っていただいていたので、生徒の進路選択に役立ちました。

【健康で住みよい学校づくり】

○コロナ感染症対策、大変ご苦労様でした。

○本年度は例年以上に感染症の拡大防止に努めていただき、アルコールやマスク、また注意喚起や生徒一人ひとりの体調管理を行っていただき、安心して学校生活が送れました。

【資源のリサイクル化の推進】

○リサイクルステーションを活用し、ごみの分別意識の向上に努めていただきました。

○数値目標はありますか？

【同窓会の充実】

○役員会等は中止となりましたが、各種団体の活動への支援は行えました。

【教職員と保護者および地域の連携を深めるPTA活動の推進】

○本年度はほとんどの行事を行えず、PTA活動らしいものはできませんでした。これを機に、一つひとつの活動を考えていったり、事業を減らすなら役員人数も減らすなど考える必要があるように思います。

【全般】

○本年度は親も子も、そして先生方も初めて経験することばかりが続きました。長い休校の後、授業時間の確保や学校行事・部活動まで、あらゆることが初めてでした。そんな中で「できる事をやる」が、世の中の新しい様式となってきましたが、例年と違うことを行うところに学校の良さが出ると思いました。立志館は新しい様式にすぐ取り組んでいただき、親も子も安心して学校と関わっておりました。先生方も大変だとは思いますが、全ては重点目標にある通り「主体的に生きる力を育む」ために努力していただいていると思います。学校生活だけではなく、卒業した後もどう生きていくのかを教えていただけるのが立志館高校は素晴らしいと思っております。今後とも子供たちの将来のためにご指導をお願いいたします。

○コロナ禍という特殊な年の学校運営で、さぞ大変な状況だったと拝察しております。その中で成果を出されていることに敬意を表します。

○今年度はコロナ禍で、例年できていたことができなかつたり、規模を縮小したりと、生徒にとってもストレスがたまる1年だったと思います。私自身、教職員、生徒、保護者等に、「リスクがあるから無理。できない」ではなく、「どうすれば実現可能か」「最初から無理ではなく、どういう対策で工夫すれば、安全安心を確保し、実施することができるか」を考えていく前向きな姿勢を訴えてきました。先行き不透明ですが、これからを生きる子供たちにはネガティブではなくポジティブな考えの持ち主になってほしいです。